

甲賀の國づくりプロジェクト

持続可能な自治体経営において、最大の課題となる将来の急激な人口減少問題に立ち向かい、地域創生の取り組みを推進することで、次世代が暮らす「元気なこうか」をつくるため、平成27年から5年間の集中的な取り組みを展開しています。

みんなの憧れを集め、選ばれる「都」をつくる

「忍者」という他の自治体にはない、世界的に有名なコンテンツを活かしたシティ・セールスを展開するとともに、市民生活の利便性を支えている公共交通を再編し、人口減少に適した都市構造へ転換する「ひと」や「もの」の新しい流れを生み出します。

其の言 世界を「忍者」で魅了する!! 感幸創生プロジェクト

- シティセールス推進事業 538万円
- 忍者活用観光戦略事業 2,748万円
- 水口岡山城発信事業 180万円
- 「来て魅て甲賀」観光誘客促進事業 500万円
- 忍者のまち観光トイレ整備工事 400万円

其の式 未来モデルの「都」を創る!! コンパクトビレッジ+ネットワーク構想

- 地域公共交通網形成計画策定事業 1,389万円
- COCCA 改札機導入促進事業 3,000万円
- 三世代同居（近居）等リフォーム助成事業 4,747万円
- 都市計画マスタープラン見直し事業 1,428万円

市民幸福度の最大化でわがまち「甲賀」の人口減少に挑む

市が策定した「甲賀の國づくりプロジェクト」は、人口減少対策に対し、誰もが日常の生活で幸せを感じる事ができる市民幸福度の高いまちをつくりていくことを基本理念としています。

基本理念には、一人ひとりが日々の営みに満足や幸福を感じ、誰もが健康で安心して豊かに暮らせるまちであり、誰かが不幸に苦しんでいれば温かな手が差し伸べ合えるまちな姿を描いています。

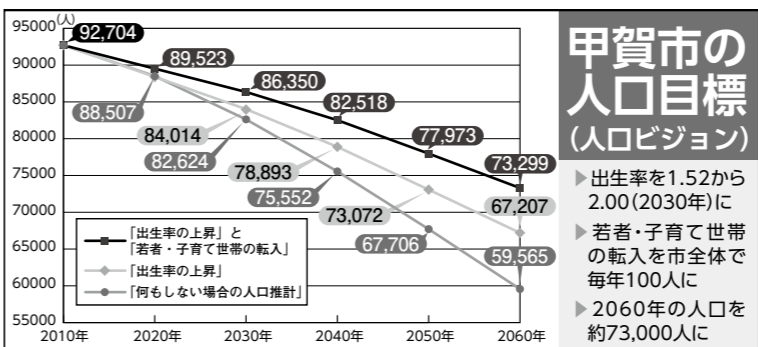
働く場所があり、やがて家族ができ、子育てや教育、医療、福祉など切れ目のない施策を充実させていくことで地域愛や郷土愛が育まれるものと市は考え、戦略的に人口減少に挑みます。

背景と要因

国の推計によると、本市の人口は45年後の2060年には6万人を割り込むと推計され

戦略の視点

これらの課題の克服に向けて、①攻めと「守り」で、急激な人口減少を避ける、②若い世代の希望に応える、多様な選択肢をつくる、③地域資源を活用し、地域ごとの魅力創生を図ることを重視し、行政がリーダーシップを発揮しながら、市民および産・官・学・金などの総力戦で人口減少に立ち向かいます。



ていきます。このまま人口減少が進むと、市内産業の衰退や日常生活に必要な生活サービス機能の低下、子育て世代の減少に伴うまち全体の活力の低下が懸念されています。

基本施策 1 甲賀らしい、市民幸福度の高い「まち」を追求する

誰もが地域との関わり合いを持ち、その人らしく活躍できる場が見つけられる、安心・安全の「まち」を追求し、多様な人の多彩な能力を活かします。

①世界基準の安心・安全の推進

- セーフコミュニティ推進事業 1,052万円



▲セーフコミュニティの「ゲートキーパー養成講座」

- ②ふるさと集落生活圏の形成 500万円
- 小さな拠点形成計画策定業務 500万円
- 甲賀市保健医療計画策定調査事業 50万円
- 健康寿命を延ばそう事業 50万円

基本施策 2 ふるさと愛を醸成して「ひと」を育てる

子ども達が、健やかにたくましく成長し自立する過程を、ふるさとの自然と多世代の見守り・交流のもとでしっかりと支え、「生きる力」の可能性に満ちた「ひと」を育てます。

そのために、「確かな育ち」をまちづくりの根幹とした、質の高い教育環境を整えて都市部への若者の流出を減らすとともに、進学や就職を機に転出した人の里帰りやUターンが進むよう、保育や学校教育などを通じて、甲賀の子どもに「ふるさと愛」を醸成します。

また、子育て支援策の充実により、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます。

③学び子に伝え、生きる力を育てる

- 中山間地域からの通学バス運行調査事業 20万円
- 確かな学力の向上事業 3,722万円

④「1more baby」

- 結婚支援事業 430万円
- 保育士確保受入れ充実事業 662万円



▲保育士等人材バンクの登録を呼びかける現職の保育士

- いつでも「待機児童ゼロ」モデル事業 1,242万円
- 第3子保育料無料化事業 2,496万円
- 第3子学校教育費支援事業 1,596万円
- 子育て世代包括支援センター整備事業 2億2,800万円
- 子育てコンシェルジュ事業 1,404万円
- 子育てポータルサイト構築事業 423万円
- 特定不妊治療助成事業 355万円

基本施策 3 域内経済の好循環を導いて「じごと」を生み出す

若者、女性、高齢者など、それぞれの特性を踏まえた活躍の場を提供し、多様な能力を最大限に発揮することで安定した所得を得られるよう「じごと」の選択肢をつくり出します。

また、窯業や農業、医薬品製造業などの地場産業を世界に発信し、これらとの連携や、物流至便で災害が少ないといった操業条件の魅力を活かした企業誘致と起業支援を促すとともに、Uターンを導きます。

⑤活躍したいをかなえる

- 甲賀JOBフェア拡大事業 350万円



▲甲賀JOBフェアで説明を受ける学生

- 地域おこし協力隊事業 2,385万円
- 女性の活躍推進事業 400万円
- 移住定住促進事業 300万円
- 都市農村交流事業 800万円
- ⑥地域の「稼ぐ力」アップ
- エネルギー地産地消推進事業 200万円
- (仮称)甲賀北地区工業団地整備事業 3,217万円



▲上空から見た工業団地予定地

- 新規就農開発支援事業 500万円
- 海外販路開拓事業 500万円
- 新規就農プロフェッショナル人材育成支援事業 300万円
- ふるさと創業支援事業 447万円
- 地場産業振興事業 1,835万円